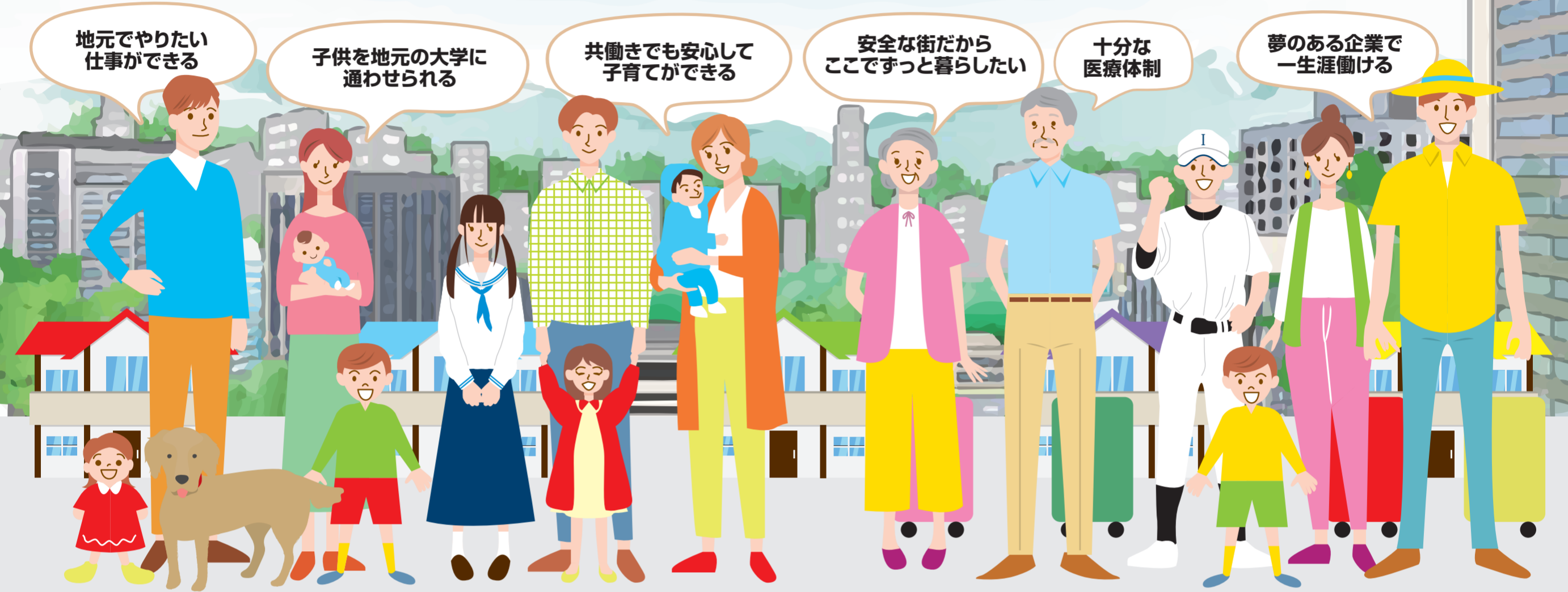


みんなの未来 幸せなまちづくり



バッテリーバレー構想って？

バッテリーバレー構想に関わる様々な取り組みを経て、「**地域イノベーション**」を起こし、次世代を担う若者や子供たちへ将来の夢と希望を持てる地域を創造します。

私たちは皆さまと共に福島から世界へ産業革命を起こしたい

2012年（平成24年）東日本大震災からの復興を目的として、福島県を日本のエネルギー産業の重要拠点とすべく“バッテリーバレー構想”がスタートしました。現在、私たちは次世代の主要エネルギーとして注目される水素を活用した地域インフラを整備することを新たな目的として活動を推進しています。100%再生可能エネルギーによる産業団地をつくり企業を誘致して、雇用の創出と地域活性化を目指します。この活動により少子高齢化問題の解消等を含め、地方の人口流出を防ぎ、多様な人財が集まり新たな産業が創出されることで、未来を担う子供たちに誇れる地域づくりができるものと確信しております。

福島県にはバッテリー部品を作る産業の基礎があります。小名浜港は日本と世界を結ぶ重要な役割を担う国際港であり、水素を利活用するこの構想には必要不可欠なものとなっております。このようにイノベーションを起こせる可能性を持った地域がこの福島県であり、浜通りです。福島県はバッテリーや新エネルギー産業を通し、世界に誇ることができる地球環境保護のモデル地域になり得ます。人と世界の生き物がきれいな地球環境の中で共存していくため、東日本大震災そして原子力災害を経験した福島県が貢献していくことは大変意義深いことであると考えております。私たちは国・県と地元を支える民間企業の皆さまと共に、新エネルギー社会実現構想の実現に向け歩み続けて参ります。



一般社団法人
いわきバッテリーバレー推進機構
代表理事 庄司 秀樹



一般社団法人
いわきバッテリーバレー推進機構
副代表理事 猪狩 謙二

バッテリーバレー構想の目的

1. 地域経済・全産業の活性化
2. 地元雇用の創出
3. 持続可能な魅力あるまちづくり
4. 福島県を日本のエネルギー産業の重要拠点とする



企業誘致

構想実現の為に...



人材育成



地元企業の
イノベーション

いわきバッテリーバレー推進機構が導く未来は？ 詳細は裏面へ



2050年の明るい未来予想 次世代エネルギーモデル都市へ

地方創生を
考える

子どもたちの
未来のために

■ 交流人口拡大
RE100 産業を利用した先進都市
モデルツアー及び観光産業の融合
※RE100 産業団地に必要エネルギーを100%再生可能エネルギーで賄い、
行政が主導する観光産業化社会への移行を目指す。

■ 教育・人材育成
福島工科大学 (FIT) を設立
(福島高専を中心とした技術科学大学)
→RE100 産業団地への雇用創生(若者の地元定着)

■ 仕事

企業のサテライト誘致による、
リモートワークの活用・人口増加
→時間と場所にとらわれない働き方

■ 生活
ネットワークやロボットの活用
→少子化・人手不足の解消(地域格差をなくす)

■ 交通

クリーンエネルギー、
アクセシビリティ(利用のしやすさ)への転換
→CO2 排出量の削減(地球温暖化の抑制)



明るい未来のために全ての産業が必要不可欠 “誰かのために”があふれる社会

医療機関
充実

行政機関
整備

建設・運輸業
活性化

製造業
活性化

公共機関
整備

観光業
活性化

サービス業
活性化

農林水産業
活性化

教育機関
の充実

1月31日(日) 第2弾「いわきの現状を考える」

バッテリー構想についてのご意見・ご感想大募集！
ご意見・ご感想と一緒に、第3弾目までのキーワードをお送り下さった
方の中から、抽選で10名様に3,000円分のクオカードをプレゼント。
詳しい応募方法については、2/7(日)の折り込みチラシをご確認下さい。
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。



キーワードを書いて QUO カードを当てよう！



感想や未来に対する想いをお聞かせ下さい。